

■ BUNGAKUZA TSUSHIN 2024.11 Vol.783

文学座通信

●本公演・地方公演『撰』

母と私 ————— 富沢亜古 …………… 1
撰さんのこと ——— 野地耕一郎 …………… 2

- 『撰』/自主企画『無垢の人』公演情報 …… 3
- 研究所の明日を探る — 植田真介 …… 4～5
- 没後70年 岸田國士の俳優教育をめぐる断章 …… 6
- 文学座あれこれ ——— 児玉竜一 …………… 7
- アトリエ短信 …………… 8



築地小劇場
開場100周年



文化庁文化芸術振興費補助金
(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))
独立行政法人日本芸術文化振興会

紀伊國屋書店提携公演

後援=台東区/一般社団法人日本舞台美術家協会

■文学座公演

撰

作 瀬戸口 都
演出 西川 信廣

■キャスト

新橋耐子
原 康義
富沢亜古
鈴木弘秋
神野 崇
川辺邦弘
細貝光司
荘田由紀
越塚 学
日景温子
音道あいり
杉宮匡紀
キクチカンキ
野村今日子

■スタッフ

美術=松野 潤
照明=塚本 悟
音楽=池辺晋一郎
音響=中嶋直勝
衣裳=原 まさみ
ヘアメイク=鎌田直樹
映像=浦島 啓
舞台監督=寺田 修
演出補=的早孝起
制作=前田麻登
最首志麻子
梶原 優



朝倉 摂画

母と私 富沢亜古

母、朝倉摂が日本画を描いていたらしいことは、かすかに知っていました。膠を溶く道具とかが家にありましたからね。でも、日本画家だった頃のことは知らないんです。本人が話さないし、作品を隠しちゃうくらいですから(笑)。ただ、新聞や雑誌の挿画はずっと連載してたので、実際に見ていました。昔は夜中に新聞社や雑誌社の人がバイクで取りに来たり、編集者が家で待ってたりしたんです。それで「朝までに描かなきゃ」って夜中によく描いてた。その様子を後ろから覗きこんでいた記憶があります。

挿画の仕事を通して、母はいろいろな文豪の方と親しくさせてもらっていたようです。たとえば、山本周五郎さんに新橋の料亭で花柳界の遊びを見せてもらったり、吉行淳之介さんに銀座のバーに連れて行ってもらったり。そういう人たちから受けた影響は大きかったでしょうね。

日本画などは皆さんのご尽力で片付きましたが、舞台美術関係の資料を先日、早稲田大学演劇博物館に寄贈したんです。台本や道具帖、写真……。二十代で家を出た私にはわからない膨大なものを、母のお弟子さんたちが整理してくれて、段ボール箱で百箱近く。積まれた荷物が運ばれ

ていくのを見てたら、不意に「あ、母が本当にいなくなっちゃった」と喪失感に襲われて。家に置いてあるときは何も思わなかったし、母が亡くなったことも「仕方ないじゃない？」と思ってたのに。自分でも不思議でね。十年経って母と別れ直したような気持ちだったのかな。

世間様は母を褒めてくださるけれど、まあ、勝手な人だったから、家族は本当に大変でした(笑)。わが道を行く人には当たり前なのかもしれないけど、一人であれもこれではできないでしょう。よく子どもを産んだなと思います(笑)。だって、全然育ててませんから、あの人は私を。代々木上原にお住まいだった佐藤忠良さんの奥様が、私をお風呂に入れに通ってくださいました。そんな生活だったんです。そりゃ寂しかったですよ。で、私が子どもを産んで預けようとしたら「怖いから嫌だ」って(笑)。自分がやったことないから。しゃべれるようになって、会話が出来るようになったらいい、意思疎通できないのは嫌だって言うの。この人にも怖いものがあるんだと思っただけ。でも犬や猫は大好きで、いつも二、三匹いたんです。あの人、動物みたいな人だから、犬や猫とは意思疎通できたのかも(笑)。(演技部/談)

■ 附属演劇研究所65期本科生募集

2025年(65期募集)より、文学座附属演劇研究所本科生の募集内容とカリキュラム等をリニューアルいたします。

- ◇ **募集人員** 演技部(昼間部・夜間部) 各25名
演出部(演出・舞台監督・美術・照明・音響効果) 若干名
制作部 若干名
- ◇ **応募資格** 18歳以上、40歳以下 経験不問(2025年4月1日時点で18歳以上の方)
- ◇ **修業期間** 2025年4月より1年間(卒業生の中から十数名が研修科に進級)
◆ **授業時間** 1コマ100分(演技実習を除く一部の講義は90分)
◆ **授業日程** 週5日(昼間部・土日休み/夜間部・水日休み)
※発表会稽古期間は週6日(月~土)
- ◇ **入所試験** 〈第一次試験〉12月25日(水) 午前9時30分から文学座稽古場にて実施
〈第二次試験〉(第一次試験合格者のみ)
12月27日(金) 昼間部 演技部 / 28日(土) 夜間部 演技部・演出部・制作部
各日共午前9時30分から文学座稽古場にて実施
- ◇ **学費** ◆ **入所金** 90,000円
◆ **授業料** 240,000円(※入所手続き時、7月、10月、1月に60,000円ずつ分割納入)
◆ **実習費** 演技部 200,000円(※入所手続き時および9月に100,000円ずつ分割納入)
演出部・制作部 40,000円
- ◇ **入所案内・応募書類の請求(無料)**
出願するには、文学座で取り扱っている応募書類(入所願書・履歴書)が必要です。
※願書請求受付期間 受付中~12月16日(月)まで
- ◇ **出願期間** 11月25日(月)~12月20日(金) **必着** ※詳細は文学座HPをご覧ください。



アトリエ短信

■ 感謝祭2024

2024年の感謝祭を対面にて開催いたします。

今年のテーマは「おしゃべり万歳! 感謝祭」。支持会・パートナーズ倶楽部会員のお客様(ご同伴者含む)の参加お申し込みなど、詳細は11月下旬にお送

りするご案内をご覧ください。

皆様のお越しを心よりお待ちしております。

◇ 12月15日(日) 16時開始(予定)

◇ 信濃町・文学座にて

※次号でも続報をお知らせします。

■ **着任** 10月1日付で文芸編集室に後藤隆基が着任しました。

出演情報 ◎追加情報は文学座HPにて

★ **乃村美絵、鈴木結里**:『ハリー・ポッターと呪いの子』(J.K. ローリングオリジナルストーリー、ジャック・ソーンオリジナルストーリー・脚本、小田島恒志・小田島則子訳、ジョン・ティファニー オリジナルストーリー・演出) 2022年7月~2024年7月~ TBS赤坂ACTシアター

★ **松井工**: ミュージカル『モーツァルト!』(ミヒヤエル・クンツェ脚本・歌詞、小池修一郎 訳詞・演出) 11/4~30 博多座

★ **山下真輝**:『Touching the Void』(ジョー・シンプソン原作、デイヴィッド・グレッグ脚色、手代木麻里訳、トム・モリス演出) 10/12~11/4 PARCO劇場、11/10~17 京都劇場

★ **石森咲妃、山下瑛司**:『劇走江戸鴉〜チャリンコ傾奇組〜』(横内謙介脚本・演出、旭堂南海原案協力) 11/2~10 大阪松竹座

★ **小石川桃子、松浦慎太郎、村上佳、櫻井優凜**:『芭蕉通夜舟』(井上ひさし作、

鶴山仁演出) 11/2 名取市文化会館〔大ホール〕、11/12 盛岡劇場〔メインホール〕ほか

★ **林田一高、鹿野真央**:『有頂天家族』(森見登美彦原作、G2 脚本・演出) 11/3~11 新橋演舞場 ほか

★ **小林勝也、栗田桃子、栗野史浩**:『セツァンの善人』(ベルトルト・ブレヒト作、酒寄進一訳、国広和毅訳詞、白井晃上演台本・演出) 11/9・10 兵庫県立芸術文化センター〔阪急 中ホール〕

★ **常住富大**: ミュージカル『グラウンドホッグ・デー』(ダニー・ルービン 脚本、ティム・ミンチン 歌詞、福田響志訳・訳詞、福田雄一演出) 11/11~22 東京国際フォーラム〔ホールC〕ほか

★ **栗田桃子**: book forest 朗読『星の王子さま』(アントワーン・ド・サン＝テグジュペリ 作、大久保ゆう 訳、鶴山仁 演出) 11/15・16 呉竹文化センター(京都)

★ **沢田冬樹**:『あいつが上手で下手が僕で人生芸夢篇』(左子光晴脚本、吉谷晃太

朗演出) 11/15~21 日本青年館ホールほか

★ **石井麗子**:『ガラクタ』(中津留章仁作・演出) 11/18~24 上野ストアハウス ほか

★ **渡辺徹**プロデュースお笑いライブ『徹座8-THE FINAL2-』11/20 浅草公会堂

★ **梅村綾子**:『ドロロン〜泥沼離婚〜』(山崎洋平作・演出) 11/20~26 新宿シアタートップス

★ **渡邊真砂珠**: 演劇集団ブラチナネクスト第30回公演『バリカンとダイヤ』(中島淳彦作、所奏 演出) 11/29~12/1 ザ・ポケット(中野)

★ **石橋徹郎、山森大輔、采澤靖起、駒井健介、武田知久**:『白衛軍 The White Guard』(ミハイル・ブルガーコフ作、アンドリュウ・アプトン 英語台本、小田島創志 訳、上村聡史 演出) 12/3~22 新国立劇場〔中劇場〕

★ **sara**:『クミコ・コンサート2024 わが麗しき歌物語 VOL.7』12/4 I'M A SHOW(有楽町)

㊟ 文学座通信のお届けはゆうメール(日本郵便)を使用しており、土日祝の配達はありません。そのため毎月10日頃を過ぎる場合があります。数日お待ちいただければ幸いです。